



# 校長室だより

令和4年5月30日

呉市立宮原中学校

文責 馬屋原美智子

第2号

## 学校司書 山本佳代さん勤務開始！ よろしくお願ひします。

この4月から、呉市が配置して下さった学校司書として山本佳代さんに勤務していただくことになりました。勤務日は毎週金曜日。お昼の開館時にいてくださる勤務時間にしています。坪内小学校出身の生徒は山本先生を知っている人もいますよね。これまでなかなか整備ができなかった図書室ですが、山本さんが来られてから、着実に環境が変化しています。チーム宮中の力強い新スタッフです。



## 体育大会 暑さの中、頑張った。



予定していた14日、18日の運動会が流れ、試験明けの25日(水)3・4校時に念願のミニ体育大会を開催しました。3年生にとっては中学校最後の行事で、規模を縮小してでも行いたいと願っていました。当日は試験勉強で疲れているにもかかわらず、表情は生き生きとしていました。種目は長縄・リレーに絞り、短時間で行いました。男子リレーではアンカーの小玉さんと、

栄木くんが競り合い、勢い余って接触して転倒する場面がありました。前をいていた小玉くんがスピードを緩め、栄木くんが立ち上がるのを見て駆け出しました。ゴールしたあと謝った小玉くん、「大丈夫、いいよ！」と返事を返している栄木くん。必死で頑張っていたからこそその転倒。それを互いが思いやっている爽やかな態度でとても気持ちよかったです。3年生の素敵な姿を見ることができました。



## 初めての定期試験

1年生が入学して2ヶ月が過ぎようとしています。体育大会も終わり、中間試験も体験したことで中学校生活にも慣れてきたのではないのでしょうか。1年生はこれからテストが返却されることで、小学校の時とは違う感覚になるかもしれません。「これまでの学習が身についていたのか、どうしたら中学校の学習に主体的に参加できるのか」など自己を振り返って考えることでしょう。たとえば思うような点数でなくても、その「自己を振り返り、次にどうしていこうか」と考え実践することが大切です。

もう40年以上前になりますが、私自身、中学校初めての「試験」のことは今でも鮮明に覚えています。なぜなら数学も英語もお世辞にも良い点数とは言えない点だったからです。小学校の時から塾に通っている友達もいましたが、私は行っていませんでした。私は長子なので、中学校の勉強、特に試験のための勉強をどうするのが良いのかも分からず、試験当日、私は通学鞆に筆記用具だけ入れて学校に行

きました。学校に着くとクラスメイトたちは試験開始まで、時間を惜しんでノートを見返したり、教科書を読んだりしていて、びっくりしたものです。「知らない」ということがこんなにも差を生み出すのかと驚いたのです。私は筆記用具しかもっていないので、机について友人たちの必死な姿を眺めることしかできませんでした。この時の私はまだ、これから突きつけられる現実には気づいていませんでした。

試験を受けたことは忘れてしまっていますが、各教科から解答が返ってきたときの衝撃は覚えています。自分では「できた」つもりだった英語。当時1年生の初めてのテストはアルファベットが中心で、そんなに難しくなく、友人たちは80点、90点、中には100点の子もいました。ところが私は70点にも満たない点数でした。数学はさらに低く、自分だけ取り残されたような感覚に陥ったものです。私は、「自分だけで学習することでは力になっていない」と感じ、親に「塾に行かせてください。」と頼みました。自分から申し出て行かせてもらった塾なので、休むことなく通い、家でも勉強したものです。おかげで学校の授業にもついていけるようになり、成績もだんだん上がってきました。

大人になって振り返ると、あのとき主体的に「勉強したい」と思ったことが自分の力を伸ばしたと分かります。

私で成功した親は、3つ下の弟も同じ塾に入れました。本人の希望も聞かずに……。すると、弟は塾の先生から「遊んでばかりで、他の人の迷惑になるからやめてください」と言われ、塾を辞めさせられました。私たち姉弟のことも見ても分かっていただけだと思いますが、本人が「やりたい」といったときにチャンスなのです。勉強に限りませんが、「やらされる」ことは身につけにくいのです。子どもの主体性を育てるために日頃から親子で話をして子どもの興味関心をつかんでおくことが大切ですね。



## 「教室におじゃまします」 5月14日(土) 1年理科の巻

この日は本来なら体育大会だったのですが、授業に振り替わった土曜日。1校時の1年生は理科の授業でした。途中から生徒が校舎の外に出て、何やら観察をしています。タブレットを持っていろんな場所で写真を撮っているではありませんか。生徒に聞くと、「たくさんの葉っぱとたくさんの根っこを撮っています。」といいます。「それをどうするの?」と聞き返すと「根っこの形、葉っぱの模様をグループに分けます。」ということでした。グルーピングが合っていたのか、グループによってどんな特徴があったのかについては次の授業に持ち越しのようです。テストが終わったらみんなで考える時間が取れそうですね。

